

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「金の卵を見つけ、育て、サポートする」 奨学金委員長 北村慎二（宝塚バプテスト教会）



この4月から奨学金委員長を拝命いたしました。「私のような者が…」との思いもありますが、「主がお入り用なら…」との思いで、この任務に就かせていただきました。主が与えて下さった役目を、主の憐れみと導きのもとで、担ってゆいたいと思っております。至らぬ点が多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、冒頭からお恥ずかしい話して恐縮ですが、私は2017年度から奨学金委員を志してまいりましたが、奨学金管理の難しさを実感しております。奨学金は受給してから完済となるまで、数年から十数年の年月を要するので、その間の人事消息の管理や入金管理が大変だからです。また面識のない方をフォローすることの難しさも感じるところです。奨学金委員の方々の労苦を覚え、お祈りいただければ幸いです。

このように苦勞の多い業務ですが、毎年ご提出いただく「近況報告」は、おひとりおひとりのご活躍ぶり、奮闘ぶりが目に浮かび、祈りに覚えさせていただくよい機会となっております。

奨学金制度は、篠田前奨学金委員長等のお働きもあって、返済割合の緩和や貸与から給付への移行など、奨学金返済負担の軽減や制度の柔軟な運用等がなされてきました。今後は制度のより一層の拡充等も視野に入れなければならないものと思っております。

イースターを迎え、タマゴ探しをした教会もあったことかと思ひます。私たちは、私たちの将来を担う「金の卵」を見つけ、育て、輩出し続けなければなりません。

私は急性期病院に勤務しておりますが、さまざまな職種の方々がチームとなって一人一人をサポートしています。私たちもチームとして奨学生一人一人に寄り添えたらと思っております。

「神学生の証」

西南学院大学院神学研究科神学専攻 原田 仰（推薦教会 平尾教会）



いつも私たち神学生のために祈り、お支えくださっております全国の諸教会の皆様へ心より感謝申し上げます。私たちもいただいている恵みに応えられるように日々精進してまいりますので、引き続き宜しくお願ひ致します。

私の神学部での学びも早いもので5年目となりました。高校からストレートで入り、時間が沢山あると思っておりましたが、過ごしてみるとまだまだ足りないというのが正直なところ。今年度から大学院へと進学し、より本格的な実践的な学びが増えて参ります。入学当初は漠然と神様の働きに参与できればと、学びたい分野も明確には定まっておりました。ただ今は、若者が比較的多く集っている教会での研修の経験、そして最近の2年間の教会での経験を通して、「これからの教会形成」という学びのテーマが与えられてい

ます。私の目から見るに、最近の一つの教会があり続けることが困難なことになっています。教会によっては、役員に同じ人が続けて選出され、奉仕の担い手が減少しているため、牧師が複数の奉仕を兼任するという事態も起きています。その背景には若年層の減少、高齢化、夫婦共働きである率の増加等があります。これらは悪ではなく、私たちの生活の変化です。しかし、このやむを得ないと思われる生活の変化によって、教会もその在り方に変化を求められているということが現状であると思ひます。

今まで通りにはいかない。しかし、「教会形成」はそれでもキリスト教会が始まって以来ずっとなされてきたことであり、私たちの共同体の本質でもあります。だからこそ、バプテストにおける「教会形成」の意義を再確認し、それが現代においてどのような形を成すことなのかを探っていきたいと考えています。

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方へ

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方は「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」に基づき、下記の要領で申請いただくようお願いいたします。詳細は日本バプテスト連盟全国壮年会連合へお問い合わせください

《申請期限》 2023年度入学予定者…2022年10月1日（土）（必着）

《申請書類》

※ 申請書類及び関連規程は全国壮年会連合ホームページ <http://www.sonen.net> の「ドキュメント/奨学金申請」からダウンロードして下さい。

※ なお、本様式は西南学院大学に提出する書類とは異なり、本奨学金貸与申請専用の様式です。お間違いないようご注意ください

《問合せ・資料等請求先》

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和1-2-4 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局
Tel/Fax:048)886-7533 (月・水・金 10:00~16:00) e-mail:sonen@bapren.jp

申請書類	入学予定者
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金願書	○
◇奨学金申請に関する推薦教会の推薦決議書	○
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金申請履歴書	○
◇召命・献身決意書(神学部提出のコピーは不可)	○

前号の全国壮年会連合ニュース第120号で、今年の夏の壮年大会についての概要をお知らせしましたが、現在（4月）段階における準備状況についてお知らせしようと思います。北海道バプテスト連合の壮年大会では、これまでに11回に亘って準備委員会を重ねて参りました。この中で、テーマ“ともに祈り、ともに歩む”及びサブテーマ“宣教の視野の拡がり”については、お伝えしているとおり、繰り返し確認してきたところです。

今、懸念材料としてあることは、COVID-19の今後の感染状況の推移です。本日（4月5日）現在、「第7波に入ったのでは」という報道があり、どのように感染状況が推移するかについて心配しているところです。全国的な感染拡大が進むようであれば、対面での集会の開催は困難になるかも知れません。このため、リモート集会についても検討を進めています。今のところ5月いっぱい状況を見て判断することになるでしょう。

さて、今回の壮年大会の全体的なテーマとして通底するのは、「どのような教会形成を考えるか」だと言えます。つまり、第54回の福岡大会のテーマを展開することになるのかなと思っています。従って、壮年会

の皆さんだけではなく、女性会の信徒の皆さんや、青年層の皆さんにも一緒に考えてもらった方が、より素敵な総会になるのではないかと願っています。英国教会の制度を否定し、新たな信仰の道を切り開こうとしたバプテストの源流の信徒のモチベーションを見ながら、今の日本社会においてどのような宣教の多様な姿を形成するべきかを、一緒に考えたいと思っています。メイン講師の大西晴樹先生、そしてアドバイザー的コメンテータのヒアルド・ロドリゲス先生のお話を聞きながら、「宗教ではなく、でも霊的なもの (Spiritual But Not Religious)」を求めていると言われる若い人たちや、キリスト教に対して敬遠感を持っている人たちをどのように宣教対象者として捉え、語っていくのかについて、一緒に悩んでみたいと思います。先生方もその方向で検討し、考えてくださっています。此からの教会の姿の一助になればと願っています。

また、対面集会の後の主日は、北海道内の教会で、礼拝を守りませんか。釧路から函館まで、15の教会が、お待ちしております。無牧師の教会もありますが、皆さんの奉仕をお待ちしています。

（準備委員会委員 浦瀬佑司）

公 告 2022年度全国壮年会連合定期総会に関わる件

規約細則第6条の定め（60日以上前）により、表題の件を通知致します。

- 総会日時：2022年8月26日（金）13：40～15：00
- 開催場所：札幌市 北海道自治労会館
- 議 案：全国壮年会連合ニュース122号（6月下旬頃予定）でお知らせします。
- 代議員登録（規則細則第4条、第7条による）
各教会・伝道所は3名まで代議員を登録することができます。
登録締切日：7月26日（火）・・・参加者申込にあわせています。
- 議案の提案（規則細則第9条による）各教会・伝道所の壮年会等は議案を提出できます。
提出締切日：7月26日（火）、役員会に提出してください。

（注）コロナ感染の急拡大により、対面での大会・総会が実施困難になった場合の対応は、別途あらためて連絡周知し、文書による総会を行なうこととします。

「壮年大会・定期総会の準備状況、特に協議の時間について」 副会長 豊永義典

壮年大会については119号、120号でも紹介しましたように、2年ぶりの対面での大会の開催を目指して、北海道地方連合壮年会の皆さんが張り切って準備をされています。今号にも準備会のメンバーである浦瀬さんがアピールの原稿を寄せられていますのでお読み下さい。

大会のプログラムの中で、役員会は定期総会と連盟の機構改革の中の「これからの伝道者養成」の検討状況の中間報告と協議の時間を担当します。この中間報告と協議について説明します。この件については119号で加藤理事長がその方向性を書いておられますように、今年度は「伝道者養成の基本理念2014年度版」の見直し作業の中心となります。2014年度版が作られてから8

年が経過し、神学生や牧師、教会を取り巻く状況は大きく変化してきており、今の状況にふさわしい牧師観・信徒観・教会観を作り上げていくことが求められています。また理事会は理念を見直したうえで、多少余裕のある奨学金制度の繰越金を、神学生や神学校、赴任した牧師の新たな支援に使えないかとの考えを持っています。

これに関しては奨学金制度を担ってきた私たちも、どのような使途に支援を拡大していくのがいいのかしっかり議論していく必要があると考えており、教会の現場で具体的な働きを担う壮年の視点から見えているものを語り合う場としてこの協議の時間を持ち、理事会の決定に反映させていきたいと願っています。多くの壮年が北海道での壮年大会に参加されることを期待しています。



日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp